

広島大学旧理学部 1 号館における土壤汚染状況調査の結果について

1 調査内容

- ・本調査は、広島大学旧理学部 1 号館の保存・活用に向けた検討に当たり、平成 22 年の土壤汚染対策法（以下「法」という。）の改正等により調査が必要となった表層及び前回調査を実施していない配管下部等について実施した。
- ・法の規定に従い、敷地内を 60 区画（1 区画：10m×10m を基本）に分割し、土壤含有量調査、土壤溶出量調査及び土壤ガス調査を実施し、土壤溶出量調査で基準値を超過した区画では、地下水調査を実施した。

| 調査種別 | 測定物質 |
|---------|-------------------------------------|
| 土壤含有量調査 | カドミウム、六価クロム、シアン、水銀、セレン、鉛、砒素、ふっ素、ほう素 |
| 土壤溶出量調査 | カドミウム、六価クロム、シアン、水銀、セレン、鉛、砒素、ふっ素、ほう素 |
| 地下水調査 | 土壤溶出量調査で基準値を超過した物質 |
| 土壤ガス調査 | クロロエチレン |

2 調査結果

(1) 土壤含有量調査

- ・調査の結果、25 区画で基準値を超えていた。

| 有害物質 | 基準値 | 検出結果の最大値 (基準値との比較) | 基準不適合区画 |
|------|-------------|----------------------------|---------|
| 鉛 | 150mg/kg 以下 | 1,300mg/kg (基準値の 8.7 倍) | 25 区画 |

(2) 土壤溶出量調査及び地下水調査

- ・土壤溶出量調査では、11 区画で基準値を超えていた。これらの区画において、地下水を採取し分析したところ、基準値を超過した区画はなかった。

| 有害物質 | 基準値 | 土壤溶出量調査 | | 地下水調査 | |
|-------|---------------|-----------------------------|------------------|-----------------------|-------------|
| | | 検出結果の最大値 (基準値との比較) | 基準不適合 区画 | 検出結果の最大値 (基準値との比較) | 基準不適合 区画 |
| 六価クロム | 0.05mg/L 以下 | 0.15mg/L (基準値の 3 倍) | 1 区画 | 0.005mg/L 未満 | なし |
| 水銀 | 0.0005mg/L 以下 | 0.0098mg/L (基準値の 19.6 倍) | 10 区画 | 0.00005mg/L 未満 | なし |
| 鉛 | 0.01mg/L 以下 | 0.032mg/L (基準値の 3.2 倍) | 3 区画 | 0.001mg/L 未満 | なし |
| 砒素 | 0.01mg/L 以下 | 0.013mg/L (基準値の 1.3 倍) | 1 区画 | 0.001mg/L | なし |
| 計 | | | 11 区画 (重複分除く) | | — |

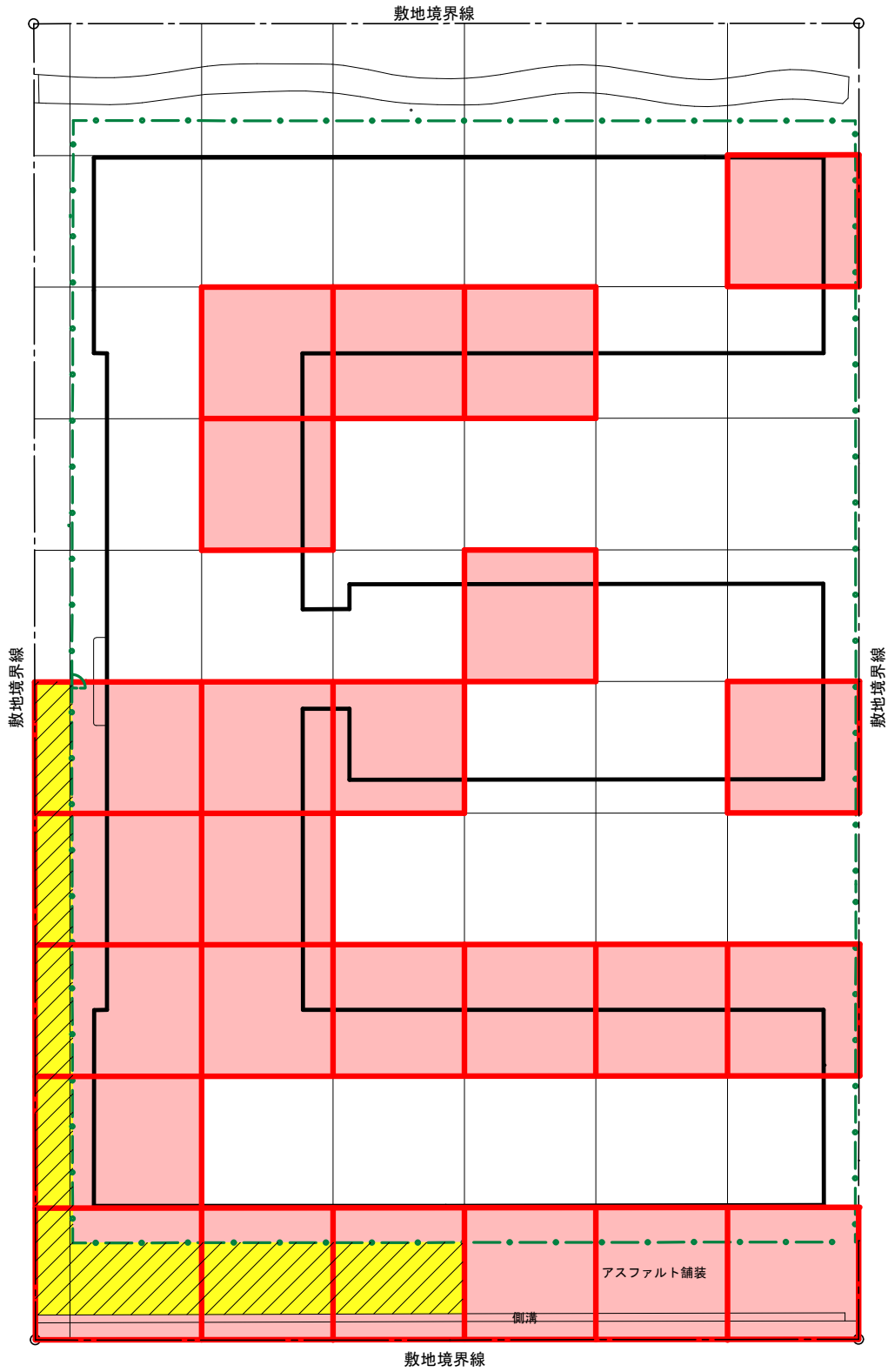
(3) 土壤ガス調査

- ・有害物質は検出されなかった。



東千田公園

入口



広島大学旧理学部 1 号館 配置図

凡例

- : 基準不適合区画 (今回の調査により判明した区画)
- : 措置が不要な範囲 (フェンスの内側又はアスファルト舗装済)
- : 既存フェンス (H=1,800mm)
- : 今回措置を実施する範囲 (約330㎡)